

(平成 28 年度の実績評価)

総合計画体系	政策No.	1	政策名	安全でみどり豊かな人がつながるまちの形成	施策主管課	総務部 危機管理室
	施策No.	3	施策名	安全・安心なまちづくり	施策主管課長名	石川 利夫
施策関連課名			総務課、みんなでまちづくり推進課、消防本部(管理課、消防課、予防課、指令課)			

1 施策の目的

① 対象(誰、何を対象としているのか) * 人や自然資源等	② 意図(この施策によって対象をどう変えるのか)
市民 自治会(自主防災会)	被害や事故に遭わなくなる。
対象の大きさを表す指標 ⇒ 2-① 対象指標	意図の達成度を表す指標 ⇒ 2-② まちづくり指標

2 指標の推移、指標設定の根拠等

指標区分、指標名		単位	数値区分	基本計画現況値	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
① 対象指標	ア 人口	人	見込み値		72,644	72,322	72,001	71,680	71,359	71,038
			実績値	72,963	72,715	72,305	72,018			
	イ 自治会数	団体	見込み値		109	104	100	100	100	100
			実績値	114	104	88	87			
	ウ 自主防災会数	団体	見込み値		128	128	128	128	128	128
			実績値	128	127	127	127			
② まちづくり指標	A 総合防災訓練参加者数	人	目標値		26,500	27,000	27,500	28,000	28,500	29,000
			実績値	25,768	25,768	25,667	27,577			
	B 消防団員数	人	目標値		未設定	746	752	758	764	770
			実績値	740	740	731	725			
	C 防犯対策に満足していると回答した市民の割合	%	目標値		未設定	52.0	54.0	56.0	58.0	60.0
			実績値	50.4	42.7	42.8	45.5			
	D 子どもと高齢者の交通事故件数	件	目標値		未設定	143	141	139	137	135
			実績値	149	126	90	100			
	E 消費者相談及び研修会の開催回数	回	目標値		未設定	102	104	106	108	110
			実績値	101	105	115	119			
まちづくり指標設定の考え方		A: 市民の防災意識向上の成果を示す。 【「南アルプス市総合防災訓練」の参加者数】 B: 地域消防力強化の成果を示す。 【南アルプス市消防団の団員数】 C: 防犯対策に関する市民の評価を示す。 【市民アンケートの『街路灯や防犯灯の設置、青色パトロールカーの巡回など防犯対策について満足していますか』において、「満足している」「やや満足している」と回答した人の割合】 D: 交通安全対策の効果を示す。 【山梨県警察本部発行の交通事故統計からの件数】 E: 消費者保護の啓発状況を示す。 【みんなでまちづくり推進課の消費生活相談員による相談96回/年(=週2回×4回/月×12ヶ月)と、地域での研修会(出前講座)の年間実施回数】								
目標値の設定の根拠(前提条件や考え方)		A: 平成25年の参加者(26,304人)をもとに、年間約500人の増加を目指し目標値を設定する。参加者は9月に市内全域で実施される総合防災訓練において、アマチュア無線クラブ等から市防災対策本部へ報告された各地区の避難者総数、及び災害対策本部への参集職員数とする。 B: 10年間で市消防団の定員充足を目指し、目標(平成36年目標値800人はH26年現在の定数)を設定する。 C: 防犯灯のLED化等による環境整備、及び関係機関との連携強化を推進し、5年間で約10%の増加を見込む。 D: 交通事故統計の実績値より、5年間で約10%の減少を見込む。 E: 地域での相談・研修会を推進し、5年間で約10回の増加を見込む。								

3 予算等の推移

※当初予算。骨格予算の年度は6月補正後

区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
関連事業本数	92	90	93	87	87		
関連事業予算額(単位:千円)	362,041	437,155	690,883	403,335	511,239		
(予算額の内訳)	国庫支出金	0	0	0	0	12,789	
	県支出金	932	3,276	745	1,315	1,955	
	地方債	68,600	93,800	343,300	92,900	169,100	
	その他	24,208	23,941	32,346	19,940	17,137	
	一般財源	268,301	316,138	314,492	289,180	310,258	

4 評価結果(施策の有効性評価)

<p>① 目標達成度評価 (目標値と実績値との比較)</p> <p><input type="checkbox"/> 目標値より高い実績値だった</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 目標値どおりの実績値だった</p> <p><input type="checkbox"/> 目標値より低い実績値だった</p>	<p>※左記の理由</p> <p>消費者相談会等の開催回数・総合防災訓練参加者数においては前年を上回り、特に防災については市民の意識の高まりを感じる。子どもと高齢者の事故件数においては、目標設定値に対し大幅に減少している。消防団員数においては、目標値には届かなかったが、総合的には目標値どおりと評価した。</p>
<p>② 時系列比較(過去3ヶ年程度の比較)</p> <p><input type="checkbox"/> 成果がかなり向上した</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 成果がどちらかと言えば向上した</p> <p><input type="checkbox"/> 成果はほとんど変わらない(横ばい状態)</p> <p><input type="checkbox"/> 成果がどちらかと言えば低下した</p> <p><input type="checkbox"/> 成果がかなり低下した</p>	<p>※左記の理由</p> <p>消防団員数は若干減少し、近年、消防団員の確保が難しくなっている。子どもと高齢者の事故件数においては、目標値に対し減少傾向にある。消費者相談等の開設については、開催回数の増加に伴い身近にて相談を受けられる体制が整備された。総合防災訓練においては、2000名弱の増員となり施策としては、どちらかと言えば向上したと評価した。</p>
<p>③ 他自治体との成果実績値の比較</p> <p><input type="checkbox"/> かなり高い成果水準である</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> どちらかと言えば高い成果水準である</p> <p><input type="checkbox"/> ほぼ同水準である</p> <p><input type="checkbox"/> どちらかと言えば低い成果水準である</p> <p><input type="checkbox"/> かなり低い成果水準である</p>	<p>※左記の理由</p> <p>消防団員の確保については、各市町村で苦慮しており、ほとんどで定数を下回っている状況である。総合防災訓練参加者数(率)は、H28年度実績38%で県内他市の平均20%を上回っている。消費相談窓口等の開設も県内では先行しており、どちらかと言えば高い成果水準と評価する。</p>
<p>④ 住民の期待する成果水準との比較</p> <p><input type="checkbox"/> かなり高い成果水準である</p> <p><input type="checkbox"/> どちらかと言えば高い成果水準である</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ほぼ同水準である</p> <p><input type="checkbox"/> どちらかと言えば低い成果水準である</p> <p><input type="checkbox"/> かなり低い成果水準である</p>	<p>※左記の理由</p> <p>防犯体制の充実・防災体制の充実・交通安全対策の推進が市民アンケートの施策重要視傾向調査の上位5項目の内、三つを占め改めて『安全・安心なまちづくり』が市民の関心事であることとなり、期待に応えていかなければならない。防災においては、自主防災会が防災リーダーの協力を得る中で、積極的に取り組む地域が出てきた。防犯及び交通安全においては、従来の事業を継続していく中で、南アルプス署との連携を図り進めていく。ほぼ同水準と評価する。</p>

5 まとめ(課題の抽出とその解決に向けた取り組み)

施策の課題 (現状の問題点)	課題を解決し、施策の実現を図るための取り組み方針	
	課題解決の方向性	具体的な改善策・取り組み内容
消防団員の確保が困難	地域防災の中核となる消防団の重要性の理解促進と併せ、現在の消防団組織に新たな組織制度を加える。	○自らの地域は自らが守るという理念のもと、地域を守る消防団活動に理解をもとめるとともに、消防団のあり方検討会での検討成果として、機能別消防団員制度を導入し、災害活動に従事する消防団員の増強を図る。
自主防災会の強化	いつ起きても不思議でない災害に対する認識と防災力の向上	○地域の防災力(自主防災会)の牽引役である防災リーダーの養成を継続していく中で、より多くの地域に防災リーダーを配置できるよう努めていく。 ○防災講習会の開催、広報誌等による市内先進自主防災会の活動状況を紹介をすることによる防災力の向上を推進していく。 ○防災リーダーを軸に、南アルプス市社会福祉協議会・アマチュア無線・自治会連合会等による(仮)防災連絡協議会を立ち上げ、情報の共有・実践訓練等、災害時には主導的役割を担う組織を構築する。
高齢者等の消費者被害の増加	消費者相談体制の充実、消費生活啓発研修・勉強会等の開催、地域での高齢者見守り体制の構築	○消費生活相談センターを開設し、相談窓口開設日の拡充を図り、悪質商法などの相談を受けられるようにする。(週二日から平日は毎日開設とする。) ○各地域で開催される高齢者を対象とした集会やイベントに参加し、有資格者による悪質商法、電話詐欺などの対策について講演、勉強会を行なう。 ○介護分野など、他分野との連携による高齢者見守りネットワークを構築する。